

令和元年度 入札監視委員会審議概要

中国四国防衛局

開催日及び場所	令和元年6月18日(火) 広島合同庁舎1号館附属棟2階13号会議室
委員	森嶋 久雄 (委員長/不動産鑑定士) 伊藤 博文 (委員長代理/税理士) 谷村 吉弘 (客員研究員) 田邊 尚 (弁護士) 川西 澄 (大学院准教授)

I 建設工事等に関する審議

審議対象期間	中国四国防衛局 平成31年1月1日～平成31年2月28日	
審議対象件数	35 件	
1. 入札状況について(参加資格の設定、指名及び落札決定の経緯等について)		
抽出件数	5 件	(審議概要)
建設工事	一般競争(政府調達協定対象)	0 件
	一般競争(政府調達協定対象外)	4 件
	公募型指名競争	0 件
	指名競争	0 件
	随意契約	0 件
建設コンサルタント業務等	1 件	
	意見・質問	回答
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	<p>【抽出案件】 ○建設工事 【一般競争入札(政府調達協定対象外)】 《美保(30)構内配電線路整備工事》 《美保(30)中央監視装置整備工事》</p> <p>・工事内容が異なると思われるが、両方とも、複数者が応札し1回目の入札で同一業者が高い落札率(98.00%、99.27%)で落札している。工事の詳細とともに、上記のようになった理由はなにか。</p>	<p>・中央監視装置整備工事は電力及びボイラー等の状態監視、計測、制御及び故障表示等を行う監視、装置を整備する工事である。構内配電線路整備工事は、美保基地内の受電電圧の変更に伴う構内配電線の改修及び中央監視装置整備に係る制御線等を整備する構内配電線路工事である。この2件の工事は、通常の電気工事の中でも特殊な工事であり、地元業者では工事実績が少ないことから、入札参加者が少ない状況であった。また、構内配電線路整備工事は、利益率の低い工事であり、中国地区の大手である中電工JVが落札出来たと思われる。積算価格については、資材価格、労務単価及び積算方法等が公表されているため、発注者の積算価格に対し近似し、高落札率となったと考えられる。</p>

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p>・当該工事は特殊であるとの説明だが、構内配電線路整備工事の入札に参加していない業者が中央監視装置整備工事を出来るのか、また、その逆についても出来るのか。</p> <p>・積算方法等が公表されているのに、予定価格超過はどういった理由でおきるのか。</p> <p>・中央監視装置整備工事の入札参加業者のうち、C社及びD社の様なメーカー系の工事業者であれば、安く入手出来るのではないのか。</p> <p>・当該2件の工事の開始時期がずれているのは中央監視装置整備工事を先行して行うためなのか。</p> <p>・中央監視装置整備工事の評価点の内訳でA社が信頼性の評価点が低い、信頼がないのか。</p> <p>・中央監視装置整備工事の入札において評価点はB社が高く、入札価格はA社が安価であるが、落札者がB社になるのはなぜか。</p> <p>・中央監視装置整備工事の入札金額で他社と比べD社の入札金額は高いがこれはどういった理由か。</p> <p>・当該2件の工事は、同一業者が同時期に行った方が効率はいいか。</p>	<p>・構内配電工事は電気事業者が単独で施工が可能である。一方、中央監視装置は機器メーカーが施工しなければならない箇所はあるが、入札に参加することは可能である。このことから、双方の入札へ参加することは可能である。</p> <p>・物価誌等に掲載のない資材価格は複数者から見積を徴収し査定を行った上で、安価な価格を材料価格として採用して。応札者の材料価格が官側の採用価格より高い見積を採用すれば、予定価格を超過することもある。</p> <p>・系列のメーカーであっても経営が別であるため、安く入手できるとは限らない。</p> <p>・先行して工事をおこなっているのではなく、中央監視装置の製作期間を考慮し、構内配電線路工事より早く契約している。</p> <p>・信頼がないという事ではなく、地域評価型の評価方式であり、地元企業である事や当該地域の工事実績等が評価されるため、A社は地元ではないことから評価点が加算されていない。</p> <p>・評価点及び、入札金額を総合的に評価し落札者を決定しているためである。</p> <p>・メーカーによって得手不得手なシステムがあり、過去に当該工事と似たようなシステムを受注していれば、設計等の仕様内容の一部修正で対応できるため経費が削減できるが、実績が無い場合はその経費が必要になり、入札金額が高くなることもあると聞いている。</p> <p>・2件の工事は全く違う内容の工事であるが、互いの工事間で調整があるので、同一業者であれば調整がしやすくなる場合もある。</p>

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p>・構内配電線路整備工事の「企業の信頼性・社会性、その他」は25点が満点だが、A社は23点であるが2点の差は何か。</p> <p>○建設工事 【一般競争入札（政府調達協定対象外）】 《出雲（30）隊庁舎等改修設備その他工事》</p> <p>・3者が応札し、2回目の入札において2者が辞退し、99.30%と高い落札率で落札となっているが、その理由としてどのようなことが考えられるか。</p> <p>・2回目の入札日時の設定はどのように調整をしているのか。</p> <p>・当該工事は設備工事と建築工事は割合的にはほとんどが設備工事なのか。</p> <p>○建設工事 【一般競争入札（政府調達協定対象外）】（1者応札） 《呉（30）局舎改修等電気その他工事》</p> <p>・1者が応札し、2回目の入札で99.81%と高落札率で落札となっているが、その理由としてどのようなことが考えられるか。また、当該入札価格については1回目から2回目入札で値引きが小さいが、案件によって値引きが大きい入札もあつたりするがどういった理由でそうなるのか。</p>	<p>・予備自衛官等を現場配置した場合は2点を加算することとしており、当該社は配置しないためである。</p> <p>・積算価格については、資材価格、労務単価及び積算方法等が公表されているため、それに基づき積算した結果、高落札率となったと考えられる。当該工事は改修工事であり、運用制限を受けながらの工事であること、また、1回目の最低価格との差額が約1500万であったことから、辞退したものと考えられる。</p> <p>・1回目の入札後、全ての入札参加者に対し、金額が乖離している部分について補足説明を行い、その際に検討に必要な日数を確認した上で日時を設定し、2回目の入札を行っている。</p> <p>・当該工事は、割合的に設備工事がほとんどである。</p> <p>・呉地区で大規模な民間工事が多く実施されており、併せて、平成30年7月の豪雨災害の復旧工事等もあり、呉市内の業者の入札参加希望者がなく、結果として広島市内の業者1者のみが参加となったものである。また、積算価格については、資材価格、労務単価及び積算方法等が公表されているため、それに基づき積算した結果、高落札率となったと考えられる。本工事の1回目から2回目入札の差額については、軽微なものであり広島から呉への交通費等と考える。</p>

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p>○建設コンサルタント業務 【一般競争入札】 《岩国試験所（30）建築その他工事監理業務》</p> <p>・1者が応札し、1回の入札で99.88%と高落札率で落札となっているが、その理由としてどのようなことが考えられるか。</p> <p>・監理業務は、平均して落札率が高いが、その理由として積算が容易であるとの説明を聞くが、複数者応札の場合は1者応札の場合に比して10%程度落札率が低いように見受けられるが、このような状況についてどのような理由が考えられるか。</p> <p>・積算額の内訳は、ほとんどが人件費なのか。</p>	<p>・積算価格については、労務単価及び積算方法等が公表されているため、それに基づき積算した結果、高落札率となったと考えられる。</p> <p>・入札参加者は、他の入札参加者の状況について分からないため、落札意欲があれば価格を下げてくる。また、過去の入札状況を確認したが、複数者応札であっても落札率が高い場合もあるし、同じ1者応札であっても落札率が低い場合もあることから、応札者数が落札率へ影響していると一概には言えないと思われる。</p> <p>・そのとおりである。</p>

	意見・質問	回答
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	【報告事項】 ○低入札事案について（1件） ○不調事案について（4件） ○指名停止等の措置状況について（2件）	・なし ・なし ・なし
○委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし	

2. 談合疑義案件の処理状況について			
談合疑義件数	0件	(審議概要) なし	
工事	談合情報		0件
事	点検結果疑義		0件
業	談合情報		0件
務	点検結果疑義		0件
	意見・質問	回答	
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	なし	なし	
○委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし		

3. 入札結果の事後的・分析結果について		
審 議 概 要	なし	
<input type="checkbox"/> 委員からの 意見・質問 <input type="checkbox"/> それに対する 回答等	意 見 ・ 質 問	回 答
	なし	なし
<input type="checkbox"/> 委員会による 意見の具申 又は 勧告の内容	なし	

4. 再苦情処理（再説明請求回数）					
再苦情申立件数 (再説明請求件数)		総件数	0 件	(備考) なし	
建 設 工 事	一般競争（政府調達協定対象外）		0 件		
	公 募 型 指 名 競 争		0 件		
	指 名 競 争		0 件		
	随 意 契 約		0 件		
建設コンサルタント業務等			0 件		
再苦情申立概要 (再説明請求概要)		申立日	件 名	契約方式	内容等
<input type="checkbox"/> 委員からの 意見・質問 <input type="checkbox"/> それに対する 回答等		意 見 ・ 質 問		回 答	
		なし		なし	
<input type="checkbox"/> 委員会による 意見の具申 又は 勧告の内容		なし			

令和元年度 入札監視委員会審議概要

中国四国防衛局

開催日及び場所	令和元年6月18日(火) 広島合同庁舎1号館附属棟2階13号会議室
委員	森嶋 久雄 (委員長/不動産鑑定士) 伊藤 博文 (委員長代理/税理士) 谷村 吉弘 (公正取引協会客員研究員) 田邊 尚 (弁護士) 川西 澄 (大学院准教授)

II 契約実施機関が締結する契約(建設工事等を除く。)に関する審議

契約実施機関：航空自衛隊

審議対象期間	平成30年4月1日 ~ 平成31年3月31日	
審議対象件数	2676件	
1. 入札状況について(入札参加資格の設定、指名及び落札者決定の経緯等について)		
抽出件数	14件	(審議概要) 「抽出案件」 ・一般競争入札 ・随意契約
一般競争	14件	
指名競争	0件	
随意契約	0件	
	意見・質問	回答
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	<p>【一般競争入札】</p> <p>①-1 《平成30年度防府航空祭における中関港シャトルバス発着場及び同周辺駐車場の交通誘導業務等の部外委託》</p> <p>①-2 《平成30年度防府航空祭における防府北基地内の交通誘導業務等の部外委託》</p> <p>落札率及び応札者数</p> <p>①-1 100% 1者 ①-2 100% 1者</p> <p>・①-1及び①-2ともに、1者応札であるにもかかわらず、落札率が100%になっている。その理由としてどのようなことが考えられるか。</p> <p>・この案件については、毎年同じ業者が落札しているのか。</p> <p>・契約金額については、例年同程度なのか。</p>	<p>・本契約は、防府北基地航空祭の際の警備業務であり、①-1については30名、①-2については20名の人員を必要とする役務である。広島、山口、福岡の警備会社に対して入札の案内を実施し、数件の問合わせがあったものの、結果的に対応可能な業者はA社1者のみであった。また、予定価格算定の際の市場価格調査に協力可能な業者もA社者のみであった。</p> <p>入札の際、A社が、事前に提出した市場価格と同価で応札したため、落札率が100%となったものである。</p> <p>・ここ数年は同じ業者が落札している。</p> <p>・例年、同程度の金額である。</p>

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p>・ 辞退した業者には辞退理由を確認したのか。</p> <p>【一般競争入札】</p> <p>②-1 《重油外》</p> <p>②-2 《重油外》</p> <p>②-3 《重油外》</p> <p>②-4 《重油外》</p> <p>落札率及び応札者数</p> <p>②-1 99.24% 1者</p> <p>②-2 98.02% 1者</p> <p>②-3 98.77% 1者</p> <p>②-4 99.16% 1者</p> <p>・ ②-1、②-2、②-3及び②-4はいずれも同一会社の1者応札で、落札率も98.02～99.24%とほぼ100%になっている。その理由はなにか。</p> <p>【一般競争入札】</p> <p>③-1 《産業廃棄物の収集、運搬委託》</p> <p>③-2 《産業廃棄物の収集、運搬委託》</p> <p>③-3 《浄化槽汚泥引き抜き》</p> <p>③-4 《塵埃収集運搬処理》</p> <p>落札率及び応札者数</p> <p>③-1 93.73% 1者</p> <p>③-2 89.54% 1者</p> <p>③-3 100% 1者</p> <p>③-4 100% 1者</p> <p>・ ③-1、③-2、③-3及び③-4はいずれも1者応札で同一会社が落札しているが、③-1及び③-2の落札率は90%前後、③-3及び③-4は落札率100%と2分される結果になっている。その理由はなにか。</p>	<p>・ 辞退した理由を確認したところ、役務を履行するための必要人数が揃えられないとのことであった。</p> <p>・ ②-1、②-2、②-3及び②-4は見島分屯基地で使用する重油の調達であるが、当該基地は離島であるため、島外の業者の応札額には運搬費等の費用が別途必要となる。よって、応札しても落札が困難な状況が考えられるため、結果として島内のB社による1者応札になるものと考ええる。</p> <p>また、予定価格は、市場調査価格の参考見積を基に算出しているが、高落札率の理由は、値引きはしたものの参考見積とほぼ同価で応札したためである。</p> <p>・ ③-1は、本島で行う役務であり、入札前に参加希望業者はもう1者いたが、産業廃棄物の許可証を保有していなかったため、結果として1者応札であったものの、競争性は今後も期待できる。残りの③-2、③-3及び③-4については、見島島内での役務であり、必要資材（運搬車両）を保有している事業者が1者のみということもあり、1者応札の結果となっている。</p> <p>予定価格は、市場調査価格の参考見積を基に算出しているが、③-1及び③-2の高落札率の理由は、値引きはしたものの参考見積とほぼ同価で応札したためであり、③-3及び③-4の落札率100%になっている理由としては、参考見積金額と同額で応札したためである。</p>

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p>・産業廃棄物の処分は本島で行うのか。</p> <p>・産業廃棄物の排出は定期的におこなっているのか。</p> <p>【一般競争入札】 ④-1 《重油1種2号》 ④-2 《重油》 落札率及び応札者数 ④-1 98.94% 2者 ④-2 99.31% 2者</p> <p>・「一者応札34、35、37、39 重油外」とも関連するが、競争契約においても98.94%、99.31%という高落札率になっている。その理由はなにか。</p> <p>【一般競争入札】 ⑤-1 《車両外注整備(I検査)業務車1号外》 ⑤-2 《市販型車両外注整備》 落札率及び応札者数 ⑤-1 100% 2者 ⑤-2 100% 2者</p> <p>・⑤-1及び⑤-2は、複数者応札であるにもかかわらず、落札率が100%になっている。その理由としてどのようなことが考えられるか。</p> <p>・防府南基地と別々に契約しているのか。</p> <p>・車両の違いで契約単価の変動はないのか。</p>	<p>・そのとおりである。</p> <p>・概ね年に1回実施している。30年度については、庁舎の建て替えで、大量の産業廃棄物を排出することとなった。</p> <p>・④-1の予定価格については、標準的な価格が掲載されている市販の「物価資料」を基に算出している。単価については、掲載されている近隣市町村の「松江市」の単価を採用しているが、高落札となった理由については、「物価資料」の掲載価格に近い標準的な価格で応札してきたことによるものと考えられる。今後は、原油価格が不安定であり、単価は日々変動していることから、市場調査による算定の必要性もあると考えている。④-2の、予定価格は2者から徴収した市場調査価格の参考見積のうち、安価な方を基に算出しているが、高落札率の理由は、値引きはしたものの参考見積とほぼ同価で応札したためである。</p> <p>・⑤-1及び⑤-2ともに予定価格算定に際し、市場価格調査として2者から参考見積もりを徴取し、回答を得たC社とD社の価格を比較し安価なC社の価格を採用した。入札に際し、落札率が100%になった理由は、C社が参考見積と同価で応札したため、複数者応札にも関わらず予定価格と同価となったものである。</p> <p>・そのとおりである。</p> <p>・予定工数に対して1時間当たりの単価で契約しているので、価格の変動はない。</p>

2. 談合疑義案件の処理状況について		
談合疑義件数	0 件	(審議概要) なし。
談合情報	0 件	
点検結果疑義	0 件	
○委員からの 意見・質問 ○それに対する 回答等	意見・質問	回 答
	なし	なし
○委員会による 意見の具申 又は 勧告の内容	なし	

3. 再苦情処理（再説明請求回数）				
再苦情申立件数 (再説明請求件数)	総件数	0 件	(備考) なし	
一般競争		0 件		
指名競争		0 件		
随意契約		0 件		
再苦情申立概要 (再説明請求概要)	申立日	件名	契約方式	内容等
○委員からの 意見・質問 ○それに対する 回答等	意見・質問		回 答	
	なし		なし	
○委員会による 意見の具申 又は 勧告の内容	なし			